

The background of the slide features a serene landscape of misty, blue-toned mountains. The peaks are layered, creating a sense of depth and atmosphere. The overall color palette is cool, dominated by various shades of blue and white, which contributes to a calm and professional aesthetic.

# 中国のマクロ経済情勢 と財政改革政策

財政部財政科学研究所 劉尚希

# 一、中国のマクロ経済情勢の短期分析

## 1. 足元の経済成長率は依然低下傾向

2015年第1四半期～2016年第1四半期のGDP成長率（四半期ベース）：

2015年Q1：7%、Q2：7%、Q3：6.9%、Q4：6.8%、2016年Q1：6.7%

2016年Q1の6.7%は2009年以来の最低水準

但し、2. 3月に落着きの兆しが見られた

2016年第1四半期、投資（農家を除く）は前年同期比10.7%増（実質で13.8%）で、伸び率は前年通期より0.7ポイント高く、2016年1-2月より0.5ポイント高い。

2016年第1四半期、消費は前年同期比10.3%増（実質で9.7%）で、伸び率は前年通期より0.4ポイント低いものの、今年1-2月より0.1ポイント高い。

2016年第1四半期、ハイテク産業と産業機械製造業の付加価値額は、前年同期比でそれぞれ9.2%増、7.5%増。

2016年3月、一定規模以上の工業企業による付加価値額は前年同期比6.8%増、前月比0.64%増。



## 二、中国のマクロ経済の長期分析

### 1. 構造的な縮小は進行中

ウェートの大きい伝統産業は現在もなお縮小最中。  
過剰設備・在庫調整とレバレッジ解消は困難な任務。  
これは構造調整に向け避けて通れない道である。

### 2. 経済の下振れ圧力と上向き推進力が交錯

労働力、資本といった要素の投入量の制約による成長率の低下。

全要素生産性の伸びの低下による成長率の低下。

但し、イノベーションによる経済成長率の押し上げ効果の重要性が増しつつある。

### 3. 成長の源泉は“エンジンの交替期”

- 要素による成長とイノベーションによる成長の“交替期”。
  - 人口の数によるボーナスと人口の質によるボーナスの“交替期”。
  - コストの上昇と企業の削減努力の間のギャップ。
- 中国はモデル転換・コスト上昇期。
- 経済のモデル転換：資源環境コスト、労働力コスト。
- 社会のモデル転換：高齢化コスト、社会信用コスト。
- 外向き型成長と内部成長モデルの“交替期”。



- ㊦ 4. 構造改革は今後中国の発展を牽引する新しいエンジン
- ㊦ 全般的に見て、改革開放は過去三十数年にわたる高度成長の鍵であり、今後の発展を可能にする原動力でもある。
- ㊦ しかし、改革の中身は変わった。
- ㊦ これまでの改革は主に経済改革、すなわち市場化改革が中心
- ㊦ 現在と今後の改革は改革の全面深化、すなわち構造改革
- ㊦ 構造改革の範囲：
- ㊦ 政府と市場との関係を見直す、すなわち更なる市場化改革
- ㊦ 政府と社会との関係を見直す、すなわち社会化改革。
- ㊦ 中央と地方との関係を見直す、すなわち階層的なガバナンス改革。



### 三、財政改革で構造改革を後押し

- ⌘ 財政は構造改革の切り口と突破口
- ⌘ 1. 予算制度改革により政府行動を規範化し、政府の「越位」（介入すべきではないところまで介入している）と「缺位」（本来果たさなければならない役割を十分に果たしていない）ことを是正。
- ⌘ 改正予算法の厳格な運用。
- ⌘ 2. 税制改革により市場が「決定的な役割」を発揮できるよう条件整備。
- ⌘ 公平な競争。
- ⌘ 減税・負担軽減。
- ⌘ 営業税から付加価値税への移行は目下の最重要課題。



- ㊦ 3. 中央と地方間の財政改革により、双方の積極性を引き出す
- ㊦ 分税制の改善。
- ㊦ 4. 公共リスクと財政リスクの比較判断
- ㊦ 公共リスクの管理
- ㊦ 財政リスクの管理



## 四、当面の財政政策

- 1. 目標：現在の利益だけではなく、中長期的な視野も必要
- 足元のリスクをヘッジしながら、将来のリスクを払拭。
- 2. 当面の財政政策に求められているのは今までと異なる
- 経済面：「安定化させる」ことであり、「押し上げる」ことではない。
- 総量重視の政策から構造的な政策へ
- 社会面：下支えであり、福祉化ではない
- ボトムラインの公平性。怠け者を甘やかさず
- 3. 財政赤字のタイプ転換
- 歳入減少型赤字がこれまでの歳出超過型赤字に取って代わる。
- 減税を中心に、総需要ではなくミクロの活力を刺激。





## 4. 財政政策と財政改革の有機的結合。

- 減税と税制改革、分税制改革。
- 農業、環境、新エネルギー、気候変動分野へのサポートを強化し、支出方式を改革。
- 債務リスクのコントロールと債務管理改革
- PPPモデルの奨励と政府自身の改革。
- 市場資本と政府目標の整合性。



## 五、将来を見据えた財政政策の刷新

- ⌘ 1. 協調的な財政政策：相殺しないように金融政策と歩調を合わせる。
- ⌘ 過剰設備・在庫調整とレバレッジ解消は財政と金融の共通任務。
- ⌘ 公共リスクの監視と管理は財政と金融の共通任務。
- ⌘ 2. 広義の財政政策：物的資本、民間資本と人的資本の融合を促進
- ⌘ 公益性と市場性は対立関係にあるものではなく、民間資本の参入分野を拡大すべき。
- ⌘ 学校や病院を経営できるよう教育、医療分野を民間資本、市場資本に開放。
- ⌘ 人的資本のバランスの取れた蓄積の加速。
- ⌘ 3. 地域発展関連の財政政策：都市化政策の一環として位置付けるべきである。
- ⌘ 中国の発展段階は工業化から都市化へ。
- ⌘ 発展の道筋は「工業化-都市化」から「都市化-工業化」へと変化。



- ⌘ 4. ガバナンスに関する財政政策：政府と市場、社会の協調
- ⌘ 三次元からなるガバナンス構造：政府、市場、社会
- ⌘ 財政政策は新しい理論枠組みのもとで役割を果たすべき。
- ⌘ 一経済成長から全体発展へ。
- ⌘ 経済と社会。物質と精神。工業化と都市化。
- ⌘ 一マクロ・コントロールから経済ガバナンスへ。
- ⌘ 外部変数から内部変数へ。外部介入から分業協力へ。
- ⌘ 一政府中心から共同管理、共同建設、共有へ。
- ⌘ 政府主導型から共同管理型へ。



ご清聴有難うございました！

